

# 遺伝カウンセリングの実際 ～一般診療と研究のはざままで～

野口恵美子先生（臨床遺伝専門医）

筑波大学医学医療系遺伝医学教授・筑波大学附属病院遺伝診療部

有田美和先生（認定遺伝カウンセラー）

筑波大学附属病院遺伝診療部

平成28年10月18日（火）

18：30～20：00

筑波大学総合研究棟D 公開講義室(1F)

遺伝子解析技術の急速な進歩に伴い、ヒトゲノムを安価に短期間に解析することが可能となってきました。その一方で、遺伝に関する情報を正しく、必要としている人に届ける人材は不足しています。遺伝子や染色体の変化は誰にでも起こりうることです。遺伝性疾患の当事者やその家族が持つ悩みや不安をサポートし、必要な情報を提供するため職種として認定遺伝カウンセラーがあります。筑波大学附属病院においては長らく臨床遺伝専門医のみで遺伝性疾患の当事者やご家族の方にカウンセリングを提供してきましたが、2014年から認定遺伝カウンセラーが着任し、遺伝カウンセリングの充実に日々努力しております。本講演では筑波大学附属病院においてどのように遺伝カウンセリングが実施されているのかについての紹介と、遺伝医療についての様々な課題について皆様と情報交換をしたいと思います。

今回の勉強会では、筑波大学医学医療系遺伝医学の野口恵美子先生と筑波大学附属病院遺伝診療部の有田美和先生にお話していただく予定です。事前申し込みの必要はございません。今回に限り午後8時までの講演です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。この講演会に参加されると、**日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医1.5単位と認定薬剤師1単位**が取得できます。

日本医師会生涯教育講座 1.5単位 CC:3 (1単位) . 5 (0.5単位) 取得予定です。  
またフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（高齢者医学）の一部となっています。